

## 平成 29 年度 学校経営計画及び学校評価

### 1 めざす学校像

『明日への扉』と『有終の美』	
池北の歴史とこれまでの取組みを継承し、確かな学力、豊かな感性、社会性を育成するとともに、生徒が夢を持ち羽ばたく気持ちで本校を巣立っていけるよう、閉校年度も【チーム池北】として日々あり続ける学校をめざす。	
『明日への扉』	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 生徒の一人ひとりに確かな学力と豊かな感性、社会性を育成する。</li> <li>2 きめ細かな対応により生徒一人ひとりの良さを引き出すことで自己肯定感を高め、生命と人権を尊重した教育活動を展開する。</li> <li>3 充実した音楽専門コースおよびキャリア教育を継承しながら、積み残しのない進路指導を実践する。</li> </ol>
『有終の美』	4 「明るく元気な池北ファイナル」を実践し、生徒とともに閉校年度を過ごすとともに、事務引き継ぎを含めた再編整備を完結する。

### 2 中期的目標 閉校年度の目標

《全員卒業・全員進路実現・全員一步前進》 『明るく元気な池北ファイナル』を合言葉に、活気ある学校生活を体感させ、自信を持たせて巣立たせる。	
1 確かな学力と社会性の育成	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 生活習慣・学習習慣の定着 ア：遅刻指導、頭髪・服装指導、授業規律指導等に関して、これまでに継続しながら組織的に取り組み、きめ細かな指導を行う。</li> <li>(2) 学び直しの強化 ア：授業をはじめ、あらゆる機会を通して生徒が学び直す意欲を持つよう粘り強く指導していく。 イ：進路実現を目標とした一般常識や基礎知識の学習を組織的に行う。</li> <li>(3) わかる喜びが散りばめられた授業づくり ア：授業づくりに関して、教科内は当然のこと、教科を越えた意見交換ができる同僚性のある職場集団を継続する。</li> </ol>
2 理解・共感・支援を柱とした生徒指導	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 機能的な相談体制と情報共有 ア：チーム池北として全ての生徒に寄り添えるよう、特にタイムリーな情報共有を重要ポイントとしていく。</li> <li>(2) 自己肯定感の向上 ア：授業をはじめ、あらゆる機会を通して生徒自身が見守られている安心感を持ち、自己肯定感を高めながら取り組める対応をめざす。 イ：日々の㊦メント（褒める＋コメント）日記の取組みで、自己肯定感の向上を促進する。</li> </ol>
3 特色と現状が融合した積み残しのない進路指導	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 充実した音楽専門コースの維持 ア：これまでの取組みを継続し、音楽専門コースで学ぶことを通して進路を実現させ、池北生であったことにプライドを持つ指導を行う。</li> <li>(2) 最後まで見守るキャリア教育の継続 ア：校内における進路指導はこれまでの実績のあるキャリア教育を維持するとともに、閉校年度においてもこれまでと変わらず求人や指定校等が生徒に提供できるよう取り組む。 イ：要支援生徒に対する進路指導において、段階をふんだきめ細やかな対応と様々な制度等を活用した助言・指導を行う。</li> </ol>
4 明るく元気な池北ファイナル	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 生徒が明るく元気に過ごせる池北 ア：画期的な授業展開や独創的な発想にたった学校行事等の企画、運営など、生徒がわくわく感のある学校生活を送ることを目標に取り組む。</li> <li>(2) 教職員が明るく元気に取り組める池北 ア：一般的な高校での学校生活が維持されることは当然で、加えて他にはできない取組みを支援する手段を構築することで、教職員がいきいきとした日々を過ごせることをめざす。</li> <li>(3) 卒業生をはじめ関係者を明るく元気にする池北 ア：閉校に向けた企画、閉校行事をはじめ、池北での思い出を残す取組みに参加しやすい企画立案と情報発信をする。</li> </ol>

### 【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成 29 年 12 実施分]	学校協議会からの意見
▽いよいよ閉校年度となり、3年生名だけの在籍ではあったが、以下の項目において肯定感の向上が見られ充実感がある。 ・「文化祭や体育祭などの学校行事は、楽しく行えるように工夫されている」 (生徒肯定率：H28 61.1% ⇒ H29 70.6%) ・「子どもは、授業が楽しくわかりやすいと言っている」 (保護者肯定率：H28 58.8% ⇒ H29 67.9%) ▽また、閉校に向けて『明るく元気な池北ファイナル』を合言葉に取り組んできたことに対して、「明るく元気な池北ファイナルの取組みについて満足している」という質問項目を追加した。 生徒肯定率：52.9% / 保護者肯定率：75.7% 「明るく元気な池北ファイナルの取組みについて生徒が満足できる企画実施に努めている」 教職員肯定率：95.0% 生徒の肯定率が想定より低い印象ではあったが、生き生きとした表情を見る機会が増えたことは実感できている。 ▽肯定率の向上をめざし続けた生徒の「授業はわかりやすく楽しい」の項目は、結局向上には至らなかったが、授業アンケート結果では生徒の積極的な取組みも感じられ、成果と捉えてたい。	○第1回（6月21日開催） ・体育祭（6/4開催）に関する意見が多かった。生徒の全体数は確かに少ないが、当日は生徒たちの弾ける笑顔が見られ、ほほえましかった。加えて、生徒目線でファイナルを進めているところ、地域と良く連携できている等の高評価をして頂いた。 ・生徒も生徒なりに閉校年度の取組みについて意外とよく考えて話し合っているのが協力をしたいと思う。校長先生からの「何でもやるけど何でもアリじゃない、好き勝手にしたら行事はすべて中止する」の話は響いていた。 ・閉校年度で様々な大人との関わりが貴重な体験となる一方で、やはり日常の学習、進路、規律ある生活を大事にしてもらいたい。 ○第2回（10月31日開催）－授業見学（音楽専門コース）・ハロウィン企画見学 ・文化祭（9/9開催）取材したテレビ放映を鑑賞後、2学期に予定のファイナル企画に関する情報提供、授業アンケート（1回目）等について意見交換を行った。 ・生徒たちが活躍できる場を多く設定し、達成感を感じている様子がよくわかる。 ・行事だけではなく、学習面でも励まし合ったり、前向きに取り組んできている。 ・㊦メント手帳の取組みが即、自己肯定感の向上にはつながっていないが、行事などでの達成感や仲間意識が育てていくと感じている。 ○第3回（2月27日開催） ・壁面アート（2/2実施）取材したテレビ放映を鑑賞後、2/24に開催した閉校イベントや学校教育自己診断結果を踏まえた意見交換を行った。 ・生徒たちの充実感が伝わる結果だと思えたとし、閉校イベントを見て「母校が閉校することを悲しんではいけない」と踏ん切りがついた気もした。 ・3月1日（卒業式&閉校式）への期待も高まっている。

3 本年度 閉校年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 確かな学力と社会性の育成	<p>(1) 生活習慣・学習習慣の定着 ア: 遅刻指導・授業規律についての組織的な取組み</p> <p>(2) 学び直しの強化 イ: 進路実現を目標にした基礎学習</p> <p>(3) わかる喜びが散りばめられた授業 ア: 授業づくりに関する教科を越えた職員集団の継続</p>	<p>(1) ア: これまでのカード指導を継続する。 ・授業内ルールの指導を引き続き徹底する。 ・「挨拶をする、遅刻をしない」を合言葉にした生活習慣の定着を教職員の声掛けで実現していく。</p> <p>(2) イ: これまでの教員の朝の連絡会を廃止し、朝のSHRを兼ねた5分間ドリルを実施する。</p> <p>(3) ア: 教員減による職員室の配置換えとサロンスペースの活用継続をうまく活用して、授業づくりに関する活発な意見交流を日々行う。</p>	<p>《全体指標》 全員卒業 全員進路実現</p> <p>・授業アンケートにおける「生徒意識1」の肯定意見の上昇 (H28年度 2.9 ⇒ H29年度 3.1)</p> <p>・学校教育自己診断における下記項目の肯定率上昇 【生徒版】授業はわかりやすく楽しい (H28年度 43.4% ⇒ H29年度 50%)</p> <p>【教職員版】学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている - 「よくあてはまる」 (H28年度 30.8% ⇒ H29年度 45%)</p>	<p>(1) ア: 訓告を含む懲戒件数は昨年度と変わらず、3年生だけの在籍という現状を考えると減少していないのかもしれないが、上級生でありながら先輩がいないという閉校年度特有の環境の中で甘えが生まれることにも気づかされ、総合的な判断ではルールを守る学校環境が保たれた、と言える(○)一方で、学習への取組みは、閉校年度で3年生だけと言う環境から、なかなか数値に現れる向上には至らなかった(△) 【生徒意識1】H28 2.9 ⇒ H29 2.7</p> <p>(2) イ: 3年生だけの在籍で朝の連絡会の廃止が可能と思いついたがやはり生徒情報等、情報共有に欠かせない連絡会であることがわかり、廃止できずドリルの実施もできなかった(△) 【生徒版】H28 43.4% ⇒ H29 41.2%</p> <p>(3) ア: 評価指標には至らなかったが、結果も向上し、職員室の配置換えは大変効果的であった(◎) 【教職員版】H28 30.8% ⇒ H29 40.0%</p>
2 理解・共感・支援を柱とした生徒指導	<p>(1) 機能的な相談体制と情報共有 ア: 「チーム池北」体制とタイムリーな情報共有</p> <p>(2) 自己肯定感の向上 イ: ⑬メント日記の取組みで自己肯定感の向上を促進</p>	<p>(1) ア: 日々、放課後の連絡会を実践し、顔を合わせ、言葉による情報共有を行い、指導にいかす。</p> <p>(2) イ: 昨年度12月から試行している⑬メント日記を本格実施していき、教員全体で⑬メントを記入する。 ⇒各学期に1回、校長も⑬メントに参加する。</p>	<p>《全体指標》 全員卒業 全員一歩前進</p> <p>(2) イ</p> <p>・⑬メント日記を実際に読むことで、生徒たちに芽生えた自己肯定感を体感する。 ・「自分を見つめる」ことを主旨としたアンケートを年度内に実施して、数値として自己肯定感の向上を検証する。</p>	<p>○放課後の連絡会の実施を計画したが、教職員数は減少しても分掌等の出張は他校と変わりなくあることと、生徒一人ひとりへの対応が放課後にこれまでより増加したことで連絡会の実施はできなかった(×)しかし、綿密な対応と情報共有はできた、と言える状況であった(○)</p> <p>○⑬メント手帳を実施し、各学期に1回校長も提出者へのコメントを記入した(○)</p> <p>クラス間でのぼらつきはあるものの、業者実施のアンケート結果で成果が大きく感じられたクラスもあった。自己肯定感の向上とまでは言えないが、「自分好きさ」チェックでは8割の生徒が微増〜倍増で向上した。</p>
3 特色と現状が融合した積み残しのない進路指導	<p>(1) 充実した音楽コースの維持 ア: 充実した音楽専門コースの取組みの継続</p> <p>(2) 最後まで見守るキャリア教育の継続 ア: 校内における進路指導の継続と求人や指定校等の提供維持に向けた取組み</p>	<p>(1) ア: 音楽専門コース生17名に対し、これまでの取組みを継続し、専門性を高める選択授業の変わらぬ提供と充実を図る。</p> <p>(2) ア: 【チーム池北】として進路指導に関わるために、組織的なスケジュール管理を行う。 ・企業や大学等に対しても丁寧な対応に努め、人手不足の校内事情を理由にしない取組みをする。 ・職員室は、第2進路指導室と言えるスペースを確保したレイアウトにして、来客にも生徒にも少ない教職員で丁寧に対応していく。</p>	<p>《全体指標》 全員進路実現</p> <p>(1) ア</p> <p>・音楽専門コース生の学びたい専門分野を重視して、講師の確保も含め専門性を維持した授業の確立と、選択者の進路実現</p> <p>(2) ア</p> <p>・これまでとほぼ同じ求人依頼企業数ならびに指定校推薦の大学数の確保 (H28年度3年生 123名 求人企業数 81社 指定校数 72校 ⇒ H29年度3年生 92名)</p> <p>・平成30年1月末現在の進路未決定者を0にする</p>	<p>(1) ア: 音楽専門コース生16名に対する授業ならびに公開講座や発表会の取組みなど、これまで通りに実施でき、在校生全体も参加させる取組みに広げられることもできた(○) ・コース生の進路実現も達成できた(◎)</p> <p>(2) ア: 求人依頼数や指定校推薦の大学数について、若干の減少はありながらも閉校年度において悩ましい現状になることはなかった(○) ・平成30年1月末現在の進路未決定者を0にできる進路指導を行い成果がでたと思ったが、内定を辞退したい生徒や経済状態で進学を決定し難い状況を抱える生徒などがおり、最後まで支援を要する状況である(○)</p>
4 明るく元気な池北ファイナル	<p>(1) 生徒が明るく元気に過ごせる池北 ア: 生徒がワクワク感を感じる学校生活を送ることを目標とする</p> <p>(2) 教職員が明るく元気に取り組める池北 ア: 教職員がいきいきとした日々を過ごせることをめざす</p> <p>(3) 卒業生をはじめ関係者を明るく元気にする池北 ア: 卒業生等が参加しやすい企画立案と情報発信</p>	<p>(1) ア: 最終年度の学校行事もこれまでの形式を維持していくことをベースにしつつ、寂しさを感じさせない工夫をするため、卒業生・保護者・地域は勿論のこと、高大連携の活用や民間企業の利用も含めて企画していく。 ・新しい行事も実施する。</p> <p>(2) ア: 教職員が日々、顔を合わせる・声をかけあう・笑いあう・相談し合う、を実践する。</p> <p>(3) ア: ホームページを活用した情報発信に加えて、生徒も教職員もOBという人脈を頼った拡散も行いながら、池北サポート隊を結成する。</p>	<p>《全体指標》 生徒も含め関係者全員が『明るく元気な池北ファイナル』を実感</p> <p>・できる限り行事後に生徒等にアンケートを実施して、数値面からも実感できるようにしていく</p>	<p>○「明るく元気な池北ファイナル」を実践した(◎)</p> <p>【体育祭】 民間委託(運動会屋の活用) 池田保健所との連携 ほそごう学園細郷中学校との連携 生徒アンケート: 肯定率: 62.2%</p> <p>【文化祭】 高大連携校5校の協力 池田市との連携(大声コンテスト等) テレビ取材・放映/新聞記事掲載 生徒アンケート: 肯定率: 69.9%</p> <p>【その他】 七夕飾り・花壇の整備・猪名川花火大会を屋上から鑑賞・NSCとのコラボ「新しい進路指導(漫オワークショップ)・ハロウィン・地域との連携一焼き芋・食堂&amp;阪急バス THANKS 企画・壁面アート・3mのXmasツリー設置等</p> <p>《学校教育自己診断 結果》 生徒版: 文化祭や体育祭などの学校行事は楽しく行えるように工夫されている 肯定率: 70.6% 保護者版: 明るく元気な池北ファイナルの取組みについて満足している 肯定率: 75.7% 教職員版: 明るく元気な池北ファイナルの取組みについて、生徒が満足できる企画実施に努めている 肯定率: 95.0%</p> <p>○卒業式においては、生徒自らが教職員への感謝の気持ちを表すサプライズを年度当初より校長に交渉を重ね、準備をした。「本校において生徒に愛情を注ぐ全過程を修了したことを証す」と準備段階では知らされていない文面が記載された卒業証書が全教員に渡された。</p>